

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます

2009年1月

良い新年をお迎える事とお喜び申し上げます。とはいえ政治経済面で大変な一年が終わり、また大変な一年が始まる。そんな感じがします。去年は「寝たきり老人の経済性、官や組織への依存、私たち自身の生活スタイルと国の1千兆円の借金」この実情を纏め、リハビリ医学の転換が必要であり、その転換が社会にどう影響を与えるかを纏めた本を出版しました。WEBに立ち読みコーナーが出来ました。ご覧いただければ幸いです。

<http://www.civilnet.org/book06.pdf>

私の20年の研究や活動の成果はまだ日本社会に反映されていません。しかし世界では徐々に認められ、WHOの後援を得てポーランドで国際大会を開催しました。WEBもポーランド製です。

<http://www.rehabil.uni.opole.pl/>

これまでの研究や活動をビデオにしました。9月に公開したものにはすでに千人を超える人が見てくれるものもあります。私達のすすめるリハビリは失った機能を取り戻すことが可能です。常識になっている介護を受けることを、自立生活する補助に変えることができます。この情報を社会に提供するビデオや報告の窓口として、

<http://www.jiritu.org/> を設けています。

国費による補助を得ての研究も18件に上っています。高齢社会の諸課題を解決するための切り口にしたい。そんな思いで市議を辞め、県議の推薦を辞退して取り組んできました。次世代の負担を軽くし、持続可能な社会でありたい。今年は、乱といわれるか維新の祖になれるか、願わくば吉田松陰の役割を果たしたいと期しています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人高齢市民が活躍するための社会技術研究会 理事長 滝沢茂男